



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日
東

上場会社名 日本コロムビア株式会社
コード番号 6791

上場取引所
URL <http://columbia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
兼最高執行責任者

(氏名) 原 康 晴

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部副本部長

(氏名) 鈴木 千佳代 (TEL) 03-6895-9870

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,513	△3.5	109	7.5	95	△2.8	66	△18.6
24年3月期第2四半期	6,750	△17.4	101	△78.9	98	△79.3	81	△82.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 44百万円 (△5.8%) 24年3月期第2四半期 47百万円 (△89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.25	—
24年3月期第2四半期	0.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,060	2,754	33.4
24年3月期	8,337	2,710	31.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,692百万円 24年3月期 2,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	2.2	350	△31.9	320	△40.2	280	△39.5	1.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	185,510,651株	24年3月期	185,510,651株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	237,955株	24年3月期	235,534株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	185,274,307株	24年3月期2Q	185,278,016株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。ただし、この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たりの配当金の内訳は以下のとおりです。

A 種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
24年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年 3 月期	—	0.00			
25年 3 月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) その他	14
4. 補足情報	15
四半期業績の推移	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

日本の音楽市場につきましては、平成24年1月から9月における音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産金額は前年同期比107%と増加したものの、平成24年1月から6月(最新情報)における有料音楽配信売上実績は前年同期比75%(以上、一般社団法人日本レコード協会調べ)となり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、65億1千3百万円(前年同四半期に比べ3.5%減)となりました。これは主に、市販/配信事業において、アニメ関連の音楽作品やニンテンドー3DSソフト“こびとづかん こびと観察セット”が売上に貢献したものの、J-POP作品を中心とした配信売上の減少、および米国音楽制作子会社における大型作品の延期・中止による売上の低迷等によるものであります。

損益につきましては、前述のゲーム作品が好調であったこと、音源許諾収入など利益率の高い売上が予想を上回ったことに加え、販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は1億9百万円(前年同四半期は1億1百万円)となりました。また、経常利益は9千5百万円(前年同四半期は9千8百万円)、四半期純利益は6千6百万円(前年同四半期は8千1百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

〔市販/配信事業〕

アニメ関連の音楽作品や、7月に発売したニンテンドー3DSソフト“こびとづかん こびと観察セット”が売上に貢献したものの、J-POP作品を中心とした配信売上の減少が続く、事業売上は46億2千9百万円(前年同四半期に比べ3.9%減)となりました。損益につきましても、販売費等を削減したものの売上の減少等により、営業利益は5億2千1百万円(前年同四半期は6億1千6百万円)となりました。

主な作品といたしましては、「氷川きよし」のアルバム“演歌名曲コレクション16～櫻～”をはじめ、「AKB48」派生ユニット「Not yet」の4thシングル“西瓜BABY”、7ヶ月ぶりの新作となりました「木村カエラ」のシングル“マミレル”、オリコンCDシングル週間ランキングにすべてのタイトルがトップ20入りを果たした、“THE IDOLM@STER CINDERELLA MASTER 001-010”、“特命戦隊ゴーバスターズ”シリーズ、インパクトのあるキャラクターと、どこかノスタルジーを感じさせる世界観が、子供から大人まで幅広く受け入れられ大ヒットとなった絵本『こびとづかん』シリーズ(なばたとしたか作、長崎出版刊)を原作とした、ニンテンドー3DSソフト“こびとづかん こびと観察セット”などの自社制作作品が好調な売れ行きとなり、売上に貢献いたしました。

〔特販/通販事業〕

ビクターエンタテインメント株式会社、株式会社EMIミュージック・ジャパンとの業務提携の継続などはありましたが、その他通販会社向け商品の売上が減少したこともあり、事業売上は10億5千7百万円(前年同四半期に比べ7.7%減)となりました。損益につきましては、利益率の高い音源使用にかかる取引の回復等により、営業利益は5億4百万円(前年同四半期は4億4千1百万円)となりました。

〔その他〕

その他事業の売上高は8億2千6百万円(前年同四半期に比べ4.7%増)となり、営業利益は1億6千万円(前年同四半期は1億8千2百万円)となりました。

当社グループは、利益を安定的に計上できる体質にすることを最大の経営課題にしており、得意分野、成長分野への経営資源の集中、不採算事業の整理、人員規模の適正化および経費削減などの施策を今後も継続して実施してまいります。音楽、映像関連業界の厳しい環境下において、当社の中核である音楽制作を中心とした市販／配信事業、制作した音源を活用した特販／通販事業および両事業から派生する新規事業に経営資源を集中することにより、さらに事業効率を高め、収益性を向上させてまいります。この一環として、変化する市場に対して迅速に対応し、競争力のある効率的な営業体制を構築するため、営業組織を会社分割により分社し、当社の100%出資子会社としてコロムビア・マーケティング株式会社を平成24年10月に設立いたしました。

さらに、フェイス・グループの一員として戦略的パートナーシップを構築していくこと、新たな音楽の流通形態への取り組みを推進していくことにより、様々な音楽関連サービスを充実させ、グループ間の事業シナジーの実現に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。この一環としてアーティストに関わる著作物の企画制作および管理を行う株式会社フューチャーレコーズを合併で設立し、同社より「rieco」、「PafeOke-パフェオケ-」がデビューしております。

売上高の貢献主要作品

〔市販／配信事業〕

<音楽ソフト>

“演歌名曲コレクション16～櫻～”、“櫻”、
 “最後と決めた女(ひと)だから” 「氷川きよし」
 “おんな川” 「大川栄策」
 “北国フェリー” 「走 裕介」
 “みんな恋した歌謡曲 ～恋愛編～”、“みんな恋した歌謡曲 ～青春編～”
 “THE IDOLM@STER” シリーズ
 “特命戦隊ゴーバスターズ” シリーズ
 “ペガサス幻想(ファンタジー) ver. Ω” (聖闘士星矢Ω 主題歌)
 「MAKE-UP feat. 中川翔子」
 “いないいないばあっ!” シリーズ
 “2012 ポップ・ヒット・マーチ ～フライングゲット～”
 “マミレル” 「木村カエラ」
 “西瓜BABY” 「Not yet(ノットイエット)」
 “new world” 「たむらぱん」
 “Trash” 「ドレスコーズ」
 “ルミナスター” 「空中分解 feat. アンテナガール」
 “ボカロがライバル☆” 「吉木りさ」
 “唄者(うたしゃ)” 「上間綾乃」
 “ふる里の民謡 第52集”

<映像ソフト>

“氷川きよしスペシャルコンサート2011 きよしこの夜Vol. 11” 「氷川きよし」
 “いないいないばあっ！” シリーズ
 “みいつけた！” シリーズ
 “2011年11月3日 両国国技館” 「clammbon(クラムボン)」
 “KAELA WEB TOUR2012@武道館” 「木村カエラ」

<音楽配信>

“マミレル” 、 “Butterfly” 、 “Ring a Ding Dong” 「木村カエラ」
 “西瓜BABY” 「Not yet(ノットイエット)」
 “ハナミズキ” 「一青窈」
 “THE IDOLM@STER” シリーズ
 “特命戦隊ゴーバスターズ” シリーズ

<ゲームソフト>

ニンテンドー3DSソフト

“まめゴマ よいこ まるいこ げんきなこ！”
 “こびとづかん こびと観察セット”
 “わんニャンどうぶつ病院2”

[特販／通販事業]

“唄は世につれ 昭和歌謡 黄金時代”
 “演歌の時代 ～泣き笑い 一億人の演歌・歌謡曲”
 “懐しのテレビ主題歌・テーマ集”
 “匠 演歌ひとすじ”

[その他]

<製造販売受託>

株式会社よしもとアール・アンド・シー様

“ROUTE to ROOTS” 「竹原ピストル」
 “DREAM” 「YU-A」
 “狩り女 夏子” 「YGA」

株式会社ワードレコーズ様

“ライヴ・アット・ザ・チェッカーボード・ラウンジ・シカゴ1981”
 「マディ・ウォーターズ&ザ・ローリング・ストーンズ」
 “The Great Pretender クイーン フレディ・マーキュリー神話～華麗なる生涯～”
 「フレディ・マーキュリー」

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比較して2億7千7百万円減少し、80億6千万円となりました。

主な増減としては、資産の部では、現金及び預金が5億2千5百万円増加し、受取手形及び売掛金が5億6千1百万円、商品及び製品が1億2千2百万円減少しております。負債の部では、支払手形及び買掛金が3億2千4百万円減少いたしました。また、純資産は27億5千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の連結業績予想につきましては、本年5月11日に開示した業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当ありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当ありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,238	3,764
受取手形及び売掛金	2,339	1,777
商品及び製品	453	331
仕掛品	465	421
原材料及び貯蔵品	68	49
繰延税金資産	130	130
前渡金	246	303
前払費用	235	203
その他	159	129
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	7,332	7,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	250	228
工具、器具及び備品（純額）	4	7
土地	0	0
リース資産（純額）	113	100
有形固定資産合計	368	337
無形固定資産		
リース資産	14	18
ソフトウェア	78	58
その他	173	173
無形固定資産合計	265	250
投資その他の資産		
投資有価証券	75	60
繰延税金資産	2	2
長期前払費用	9	17
長期末収入金	359	358
その他	444	447
貸倒引当金	△520	△522
投資その他の資産合計	370	364
固定資産合計	1,004	953
資産合計	8,337	8,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,027	703
短期借入金	500	700
1年内返済予定の長期借入金	75	124
リース債務	46	48
未払金	637	529
未払費用	235	203
未払印税	1,507	1,454
未払法人税等	26	37
返品調整引当金	155	94
その他	294	339
流動負債合計	4,507	4,236
固定負債		
長期借入金	24	100
リース債務	91	74
退職給付引当金	837	775
資産除去債務	30	30
その他	135	89
固定負債合計	1,119	1,070
負債合計	5,627	5,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,187	2,187
利益剰余金	△249	△183
自己株式	△23	△23
株主資本合計	2,913	2,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△266	△286
その他の包括利益累計額合計	△266	△287
新株予約権	63	61
純資産合計	2,710	2,754
負債純資産合計	8,337	8,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,750	6,513
売上原価	3,747	3,736
売上総利益	3,003	2,776
販売費及び一般管理費		
販売費	1,288	1,157
一般管理費	1,612	1,510
販売費及び一般管理費合計	2,901	2,667
営業利益	101	109
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
受取手数料	4	3
雑収入	—	2
その他	1	1
営業外収益合計	7	8
営業外費用		
支払利息	2	7
持分法による投資損失	1	14
雑損失	4	—
その他	1	0
営業外費用合計	9	21
経常利益	98	95
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1
投資有価証券清算分配金	2	—
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	99	94
法人税、住民税及び事業税	17	29
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	17	28
少数株主損益調整前四半期純利益	81	66
四半期純利益	81	66

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81	66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△32	△20
その他の包括利益合計	△33	△21
四半期包括利益	47	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47	44
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99	94
減価償却費	123	44
長期前払費用償却額	32	26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	32	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△66	△62
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	2	7
持分法による投資損益 (△は益)	1	14
売上債権の増減額 (△は増加)	446	556
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36	173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2	△323
未払金の増減額 (△は減少)	△29	△10
未払費用の増減額 (△は減少)	△141	△31
未払印税の増減額 (△は減少)	△16	△45
その他	△310	△1
小計	134	442
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△2	△7
法人税等の支払額	△23	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	109	426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資の純増減額 (△は増加)	43	11
有形固定資産の取得による支出	△26	△15
有形固定資産の売却による収入	6	—
無形固定資産の取得による支出	△8	△7
無形固定資産の売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	△33	—
長期前払費用の取得による支出	△25	△26
貸付金の回収による収入	8	8
その他	△139	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200
長期借入れによる収入	—	150
長期借入金の返済による支出	—	△25
リース債務の返済による支出	△5	△22
その他	△0	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5	276
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△70	540
現金及び現金同等物の期首残高	2,593	3,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,523	3,718

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	市販／配信	特販／通販	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,816	1,145	5,961	789	6,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	168	—	168	63	232
計	4,985	1,145	6,130	853	6,983
セグメント利益	616	441	1,058	182	1,240

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業および製造販売受託事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,058
「その他」の区分の利益	182
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△1,139
四半期連結損益計算書の営業利益	101

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	市販／配信	特販／通販	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,629	1,057	5,686	826	6,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89	—	89	65	154
計	4,718	1,057	5,775	892	6,668
セグメント利益	521	504	1,025	160	1,186

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業および製造販売受託事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,025
「その他」の区分の利益	160
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,077
四半期連結損益計算書の営業利益	109

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

音楽業界を取り巻く環境は、IT技術の向上やデジタルライゼーションの促進などにより、ストリーミング、音楽アプリの利用など新たなメディアによる視聴が生まれ、大きく変容しています。

当社グループの収益源も、従来のCD・DVD、配信による視聴に加え、様々なメディア・視聴方法から生じる音源権利収入・使用料など多様化、細分化し、その重要性も高まっております。

前第2四半期連結累計期間において「その他」事業に含めて表記しておりましたこれら音源権利収入を、より実態に即して事業管理を行うため、前連結会計年度から、音源制作を担う部門を包括する「市販／配信」事業にその区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成した情報を記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(7) その他

1 株当たり四半期純利益算定上の普通株式期中平均株式数は、以下のとおりであります。

(単位：千株)

項目	平成25年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期
普通株式期中平均株式数		
普通株式	185,274	185,278
A種優先株式(普通株式転換後)	84,746	84,746
合 計	270,021	270,024

4. 補足情報

四半期業績の推移

平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間
売上高	3,355	3,395	3,923	4,007
営業利益	16	84	66	345
経常利益	19	79	63	372
四半期純利益	10	70	51	330

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
売上高	3,066	3,446
営業利益又は営業損失（△）	△117	226
経常利益又は経常損失（△）	△122	218
四半期純利益 又は四半期純損失（△）	△131	197